

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第3キッズゆうあい		
○保護者評価実施期間	2025年11月27日		～ 2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年11月27日		～ 2025年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「○○したい！」という利用者の声をなるべく実現させて「できた！」という達成感を増やしています。	利用者の声を聞くということやどうしたら叶えることができるのかを意識しながら関わっています。	発信が少ない利用者さんには何を準備して何が出来たら嬉しいのかを考えていく。
2	ごほうびシステムや目標システムで、利用者の良い所や頑張りを評価しています。	個別の目標を設定して取り組み達成に応じてのごほうびがあったり、利用者さん皆で貯めるやさしい行動ポイントがあったりと利用者さんたちが「がんばろうかな」や「○○して良かった」と思える体験を支援しています。	家庭でもできるシステムでどうやって般化させていくのかを考えていけたらと思います。
3	集団活動で様々な体験ができるように計画しています。	食育(作りやすいメニューや季節に沿ったメニュー)や買い物体験、避難訓練やお出かけなど、色々体験できるようにしています。	より充実した活動の提案や、利用者さんたちで活動を考えて決める機会を作りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	物の配置、整理整頓の不十分さが課題です。	玩具や工作材料などの配置や片付けしやすいような視覚支援を工夫しなければいけない。	使いやすさ、遊びやすさを考えながらどうしたら良いのかを考えていく。
2	地域交流や他事業所との関わりが少ない。	どういった活動をしたら良いのか良い案がまとまらない。	どんなことができるのか、どんなことをしたら楽しい交流になるのかを考えていく。 他者からのアドバイスを参考にしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	第3キッズゆうあい
------	-----------

公表日 年月日

利用児童数 2026年2月20日時点 16名

回収数 14

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		3		定員10名に対して5名以上の職員で 対応 しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2				環境整備、バリアフリー化についてまだ課題 の部分がありますので今後も整備 してい きます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			1		環境整備と発信をしていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				支援についての勉強と発信をしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1		3		支援プログラムと支援内容のお伝えをしてい きます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13	1				今後も理解と分析をして作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1				計画を作成するうえで重要なことですので しっかりと行っていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1		1		固定化しないようスタッフが連携を取って 色々な活動の提案、実行をしていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1		4		機会を設ける企画を考えていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12			2		機会を設けられるよう考えていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2		3		機会を設けられるよう考えていきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			2		周知、説明を行っていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13			1		視覚提示や情報共有にもう少し力を入れていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13			1		不足している情報を伝える工夫をしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		1		訓練を実施しておりますが、訓練をした際の報告やマニュアルについての説明を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2		2		月に1回訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2		1		計画の周知をしていきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13			1		安心感をもって来所してもらるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14					
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		第3キッズゆうあい		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	活動のによってエリア分けてスペースの確保を行っています。	活動が集中して狭く感じる際のスペース確保を検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	小集団を作り、1対1の対応時にも手薄さが無いように心がけています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	エリア分けによる活動場所の構造化をしています。	バリアフリーの面で課題があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		環境整備や整理整頓をしてより過ごしやすい環境にしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		1人になれる場所の確保を進めていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		ミーティング時間の確保を行っていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		全員が把握できるようにしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		ミーティング時間の確保を行っていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	外部講師を招いての内部研修を行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		周知に努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		全員が参加できるようにしていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		全員が把握できるようにしていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		ツールの活用を進めていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	個別で意見を求めています。	ミーティング時間の確保を行っていく。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	季節に沿った活動(食育など)や集団活動を行っています。	レパトリーが増やしていけたらと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3		ミーティング時間の確保を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	翌日に打ち合わせを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		口頭でのやり取りもあり記録に残せていないものもあるので今後は記録をしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		全員が把握できるようにしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	児童発達支援管理責任者が子どもの様子を職員へ確認したうえで参加しています。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		連携先が教育現場と限定的なので幅広い連携を考えていきます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	移行先の放デイとの情報共有をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		機会の検討をしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		交流機会の検討をしていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4		他の放デイの方が代表して参加されています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		機会の検討をしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	今年度は参観日を企画し夏休み中に行いました。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		機会の検討をしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	2		全員が把握できるようにしていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	卵アレルギーがある子がいるので提供しないように配慮しています。	必要に応じて医師と連携を取ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		全員が把握できるようにしていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		全員が把握できるようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				